

JCMAS

社団法人 日本建設機械化協会規格

建設機械 — 安全標識

JCMAS H 014 : 2000

平成11年6月30日 制定

社団法人 日本建設機械化協会 標準化会議 審議



まえがき

この規格は、社団法人日本建設機械工業会が作成した“建設機械統一安全標識、危険内容の図記号及び危険回避の図記号”を、同協会からの提案により、社団法人日本建設機械化協会規格（JCMAS）並びに標準化推進に関する規定に基づいて、標準化会議の審議を経て会長が制定した社団法人日本建設機械化協会規格である。

この規格の一部が、技術的性質を持つ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。社団法人日本建設機械化協会の会長及び標準化会議は、このような技術的性質を持つ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案出願にかかわる確認について、責任をもたない。

なお、社団法人日本建設機械工業会が制定した建設機械統一安全標識の中の一部に、米国 FMC 社の著作権に関連するラベルがありますので、（株）ディーエイチシー発行“PL警告ラベル デザイナーズマニュアル”の、下記“お取扱上の注意”をお読みいただき、ご使用される場合は、（株）ディーエイチシーへお申し込みすることをおすすめいたします。

“お取り扱い上の注意”（“PL警告ラベル デザイナーズマニュアル”より）

本書（PL警告ラベル デザイナーズマニュアル）の著作権者である米国FMC社は、アメリカ国家規格であるANSI規格のシンボル・ピクトグラフの多くを作成するなど、米国における警告ラベル作成基準の確立者として、全米で多くの企業などから高い評価を得ている会社として有名です。

この“PL警告ラベル デザイナーズマニュアル”は、アメリカで発行されている“Product Safety Sign and Label System”を東京海上火災保険（株）安全技術サービス部監修のもと、（株）ディーエイチシーが、日本語版として発行した物であり、原書と同様の使用形態が取れるバインダー形式になっており、警告ラベルを作成して使用する方の便宜を計ってあります。これらの事から、警告ラベルなどの製作にあたり本書の複写複製等については、以下の事項について、法律の遵守と権利の保護に十分な配慮をお願いします。

- 1) 本書を複写・複製および転載、電子媒体入力して利用できるのは、PL表示対策などでの安全表示や警告ラベル等を作成する場合の、自社製品に使用する目的に限ります。これ以外の行為は別に著作権者の許諾が必要です。
- 2) 本書の複写・複製等の権利者は（株）ディーエイチシーまたは契約販売取扱者からの購入者および、贈与・転売などに於ける本書の所有者で、本書の所持登録または追録購入申込み登録者に限ります。
- 3) 本書の一部または全部を利用した出版・印刷・マークの販売等は、著作権者の許諾無しでは一切出来ません。また、印刷業者等が本書を利用して警告ラベルの作成等を請け負い製作する場合は、注文主から本書の借り受けをするか、双方が本書を所持している事を確認して、その出典を証明できる手段を講じて置く必要があります。
- 4) 本書は時代に即応したマークや規格が発行された場合は、順次追録が発行される予定です。特にこれからの日本では、PL表示対策内容は製品ユーザの意識変化で、時と共に厳しいものに変化して行くと思われまので、新しいANSI規格に含まれないマークなどの複写権の確保は重要です。
- 5) 以上の内容を理解して、“PL警告ラベル デザイナーズマニュアル”の複写利用等の権利を得る為の登録には、（株）ディーエイチシーまたは本書の契約販売取扱者の本書の購入申込書および、増補・改訂時の追録申込み予約をする事で自動的に行われます。
- 6) 本書の出版・取扱にあたり、著作物の複写等に於ける権利侵害行為から著作権を守る為、本書の取扱い販売者は、十分な知的所有権の尊重・保護について理解有る業者に依頼しています。

なお、本書の内容が適正に使用され権利等侵害の無い事の確認に、調査ご協力をお願いする場合があります。

平成10年12月9日 社団法人日本建設機械化協会標準化会議で審議・承認

WTO/TBT協定に基づく意見受付開始日：平成11年2月15日

意見受付終了日：平成11年4月15日

制定：平成11年6月30日

訂正：平成16年7月24日

この規格についての意見又は質問は、社団法人日本建設機械化標準部 (Tel 03-5776-7858, Fax 03-3433-6861)にご連絡ください。

建設機械－安全標識

Construction Machinery - Safety Signs

序文 この規格は、1997年10月に（社）日本建設機械工業会が、学識経験者、関係官庁、ユーザ業界団体代表からなる“安全標識評価検討会”の審議を経て作成した“建設機械統一安全標識、危険内容の図記号及び危険回避の図記号”を、（社）日本建設機械化協会標準化会議で審議した日本建設機械化協会規格（JCMAS）である。

1. 適用範囲 この規格は、JIS A 8312 及び ISO 13200 に定める安全標識の様式などにより、建設機械に用いる安全標識、危険内容の図記号及び危険回避の図記号の図柄、補助文字及びその意味を規定する。

この規格は、次の建設機械に適用する。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| — 油圧ショベル（ミニショベル含む） | — アスファルトフィニッシャ |
| — トラクタドーザ（ブルドーザ） | — コンクリート機械 |
| — ホイールローダ | — 油圧ブレーカ、油圧圧砕機 |
| — グレーダ、スクレーパ | — 基礎工事用機械 |
| — ダンパ（ダンプトラック） | — アスファルトプラント、
コンクリートプラント |
| — 不整地運搬車 | — 自走式破碎機 |
| — ホイールクレーン、
トラッククレーン | — シールド |
| — 高所作業車 | — 推進機 |
| — クローラクレーン | — ドリル |
| — 締固め機械 | — 空気圧縮機 |

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年（又は発行年）を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正・追補には適用しない。発効年（又は発行年）を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

JIS A 8312 土工機械－安全標識及び危険表示図記号－通則

備考 ISO 9244:1995, Earth-moving Machinery - Safety signs and hazard pictorials – General principles が、この規格と一致している。

JIS B 0139 複写機－図記号

備考 ISO/IEC 6329 : 1989, Duplicators and document copying machines - Symbols からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS Z 9101 安全色及び安全標識

備考 ISO 3864:1995 Safety colours and safety signs からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

ISO 13200:1995, Cranes - General principles for safety signs and hazard pictorials

ANSI Z 535.3:1988, Criteria for Safety Symbols

3. **定義** この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

3.1 **建設機械** 1.に掲げた建設機械をいう。

3.2 **製品** 建設機械本体、付属品、交換部品及びこん（梱）包材などをいう。

3.3 **製品自体** 製品から梱包材などを除いた作業装置を含む完成品をいう。

3.4 **取扱説明書など** 取扱説明書、注意書、分解・組立説明書、技術資料などをいう。

3.5 **安全標識** 製品に直接取り付ける警告表示 (1) をいう。

注 (1) 警告表示とは、製品にかかわる事故を防止するため、製品を安全かつ適切に使用できるよう、運転員などに必要な情報を提供するための表示をいう。警告表示には、製品自体への表示（安全標識）と取扱説明書などへの表示とがある。

3.6 **危険** 一般の文章中で使用する場合は、潜在的傷害／損害の源、及び容認できないリスク (2) の存在する状態をいう。

注 (2) リスクとは、与えられた状況での、傷害／損傷の大きさをいう。

4. 安全標識

4.1 **安全標識** 製品に取り付ける安全標識及び取扱説明書などで用いる安全標識の説明文を、**附属書 1** に示す。

4.2 **大きさ** 安全標識の大きさは、機械の大きさ、取付ける場所の面積、見る位置などにより、適切に定める。標準的な寸法は **JIS A 8312** による。

4.3 **取扱説明書などでの表示** 安全標識とその正確な意味の説明文を、取扱説明書の冒頭で一覧表示する。

5. 図記号、補助文字及びその意味

5.1 **危険内容の図記号** 各安全標識の中の危険内容の図記号の意味、補助文字及びその意味を、**附属書 2** に示す。

5.2 **危険回避の図記号** 各安全標識の中の危険回避の図記号の意味、補助文字及びその意味を、**附属書 3** に示す。

6. **図記号、補助文字の色** 安全標識に使用する色を、**附属書 4** に示すが、使用に当たっては **JIS Z 9101** を参照するのがよい。

附属書 1 (規定) 建設機械統一安全標識

附属書 1 表 1 油圧ショベル統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 <p>警告 取扱説明書を読め</p> <p>-A- -001</p>	<p>警告！ 機械の運転、整備、分解、組立、輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	4	 <p>やけど 開けるな</p> <p>-A- -004</p>	<p>高温の状態でキャップを開けると高温の水または油が噴き出し、やけどをする恐れがあります。 高温時にはキャップを開けないでください。</p>
6	 <p>爆発 分解・修理・火気厳禁</p> <p>-A- -006</p>	<p>爆発により、けがをする恐れがあります。 穴をあけたり、溶断したり、衝撃を与えたり、分解したり、火気を近づけたりしないでください。</p>	77	 <p>プラグ飛び出し 取扱説明書を読め</p> <p>-A- -077</p>	<p>履帯調整装置からプラグが飛び出し、けがをするおそれがあります。 履帯をゆるめる時は取扱説明書を読み、正しく処置してください。</p>
11	 <p>感電;ケーブル取扱時 取扱説明書を読め</p> <p>-A- -011</p>	<p>ケーブル取扱い時、感電する危険があります。 取扱説明書を読み、正しく処置してください。</p>	26	 <p>転落 近づくな</p> <p>-A- -026</p>	<p>転落する恐れがあります。 端部に近づかないでください。</p>
52	 <p>巻き込まれ STOP 整備中、回転停止</p> <p>-A- -052</p>	<p>ファンなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。 点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。</p>	51	 <p>巻き込まれ STOP 整備中、回転停止</p> <p>-A- -051</p>	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。 点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。</p>

附属書 1 表 1 油圧ショベル統一安全標識 (続き)

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
60	 <p>前窓落下 ロックせよ</p>	<p>格納した前窓が滑り落ちてけがをする恐れがあります。</p> <p>格納位置でロックを確実にかけてください。</p>	41	 <p>はさまれ 旋回内立入禁止</p>	<p>機械が旋回する時、上部旋回体に身体をはさまれる恐れがあります。</p> <p>旋回範囲内に立ち入らないでください。</p>
42	 <p>不意の起動 離席時、作業機接地、ロック、エンジンストップ</p>	<p>止めておいた機械が不意に動き、はさまれたり、ひかれたりしてけがをする恐れがあります。</p> <p>機械から離れるとき、作業機を地面に下ろし、操作レバーをロックし、エンジンキーを抜いてください。</p>	75	 <p>はね飛ばされ 近づくな</p>	<p>機械の作業機にはね飛ばされ、けがをする恐れがあります。</p> <p>機械に近づかないでください。</p>
13	 <p>感電 安全距離を保て</p>	<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください。</p>			

附属書 1 表 2 トラクタードーザ（ブルドーザ）統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1		<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	4		<p>高温の状態でキャップを開けると高温の水または油が噴き出し，やけどをする恐れがあります。</p> <p>高温時にはキャップを開けないでください。</p>
6		<p>爆発により，けがをする恐れがあります。</p> <p>穴をあけたり，溶断したり，衝撃を与えたり，分解したり，火気を近づけたりしないでください。</p>	77		<p>履帯調整装置からプラグが飛び出し，けがをするおそれがあります。</p> <p>履帯をゆるめる時は取扱説明書を読み，正しく処置してください。</p>
11		<p>ケーブル取扱い時，感電する危険があります。</p> <p>取扱説明書を読み，正しく処置してください。</p>	27		<p>転落する恐れがあります。</p> <p>この場所に乗らないでください。</p>
52		<p>ファンなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>	51		<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>

附属書 1 表 2 トラクタドーザ（ブルドーザ）統一安全標識（続き）

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
92		<p>ひかれる恐れがあります。 車両に近づかないでください。</p>	93		<p>止めておいた機械が不意に動く恐れがあります。 機械から離れる時は、作業機を地面に下ろし、操作レバーをロックし、エンジンキーを抜いてください。</p>

附属書 1 表 3 ホイールローダ統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 <p>警告</p>  <p>取扱説明書を読め</p>	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	4	 <p>やけど</p>  <p>開けるな</p>	<p>高温の状態でキャップを開けると高温の水または油が噴き出し，やけどをする恐れがあります。</p> <p>高温時にはキャップを開けないでください。</p>
6	 <p>爆発</p>  <p>分解・修理・火気厳禁</p>	<p>爆発により，けがをする恐れがあります。</p> <p>穴をあけたり，溶断したり，衝撃を与えたり，分解したり，火気を近づけたりしないでください。</p>	11	 <p>感電；ケーブル取扱時</p>  <p>取扱説明書を読め</p>	<p>ケーブル取扱い時，感電する危険があります。</p> <p>取扱説明書を読み，正しく処置してください。</p>
27	 <p>転落</p>  <p>乗るな</p>	<p>転落する恐れがあります。</p> <p>この場所に乗らないでください。</p>	52	 <p>巻き込まれ</p>  <p>STOP</p> <p>整備中、回転停止</p>	<p>ファンなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>
51	 <p>巻き込まれ</p>  <p>STOP</p> <p>整備中、回転停止</p>	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>	32	 <p>はさまれ</p>  <p>ロックせよ；整備・輸送時</p>	<p>車両の屈折部にはさまれる恐れがあります。</p> <p>整備時，輸送時に，車両が屈曲しないようロックバーでロックしてください。</p>

附属書 1 表 3 ホイールローダ統一安全標識 (続き)

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
62		<p>作業機が落下する恐れがあります。</p> <p>作業機が上がっている時には近づかないでください。</p>	94		<p>ひかれる恐れがあります。</p> <p>車両に近づかないでください。</p>
91		<p>止めておいた機械が不意に動く恐れがあります。</p> <p>機械から離れる時は、作業機を地面に下ろし、操作レバーをロックし、エンジンキーを抜いてください。</p>	30		<p>車両の屈折部にはさまれる恐れがあります。</p> <p>車両に近づかないでください。</p>
14		<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください</p>			

附属書 1 表 4 グレーダ及びスクレーパ統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 警告  取扱説明書を読め	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	4	 やけど  開けるな	<p>高温の状態でキャップを開けると高温の水または油が噴き出し，やけどをする恐れがあります。</p> <p>高温時にはキャップを開けないでください。</p>
6	 爆発  分解・修理・火気厳禁	<p>爆発により，けがをする恐れがあります。</p> <p>穴をあけたり，溶断したり，衝撃を与えたり，分解したり，火気を近づけたりしないでください。</p>	78	 スプリング飛び出し  取扱説明書を読め	<p>スプリングが飛び出し，けがをする恐れがあります。</p> <p>履帯を緩める時は，取扱説明書を読み，正しく処置してください。</p>
11	 感電；ケーブル取扱時  取扱説明書を読め	<p>ケーブル取扱い時，感電する危険があります。</p> <p>取扱説明書を読み，正しく処置してください。</p>	51	 巻き込まれ  整備中、回転停止	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>
			95	 ひかれ  近づくな	<p>ひかれる恐れがあります。</p> <p>車両に近づかないでください。</p>

附属書 1 表 4 グレーダ及びスクレーパ統一安全標識（続き）

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
96		<p>ひかれる恐れがあります。 車両に近づかないでください。</p>	31		<p>車両の屈折部にはさまれる恐れがあります。 整備時、輸送時、回送時に、車両が屈曲しないようロックバーでロックしてください。</p>

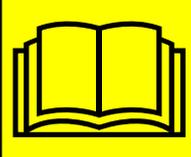
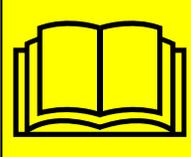
附属書 1 表 5 ダンパ (ダンプトラック) 統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1		<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	4		<p>高温の状態でキャップを開けると高温の水または油が噴き出し，やけどをする恐れがあります。</p> <p>高温時にはキャップを開けないでください。</p>
5		<p>運転中や停止直後に高温部（エンジン，モータ，マフラーなど）に触るとやけどをする恐れがあります。</p> <p>高温部に触らないでください。</p>	6		<p>爆発により，けがをする恐れがあります。</p> <p>穴をあけたり，溶断したり，衝撃を与えたり，分解したり，火気を近づけたりしないでください。</p>
11		<p>ケーブル取扱い時，感電する危険があります。</p> <p>取扱説明書を読み，正しく処置してください。</p>	27		<p>転落する恐れがあります。</p> <p>この場所に乗らないでください。</p>
51		<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>	97		<p>ひかれる恐れがあります。</p> <p>車両に近づかないでください。</p>

附属書 1 表 5 ダンパ（ダンプトラック）統一安全標識（続き）

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
71		<p>ボディが落下する恐れがあります。</p> <p>ボディを上げて点検、整備する時は、取扱説明書を読み、正しく処置してください。</p>	15		<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください</p>

附属書 1 表 6 不整地運搬車統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 警告  取扱説明書を読め	<p>警告！</p> <p>機械の運転、整備、分解、組立、輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	4	 やけど  開けるな	<p>高温の状態でキャップを開けると高温の水または油が噴き出し、やけどをする恐れがあります。</p> <p>高温時にはキャップを開けないでください。</p>
5	 やけど  触るな	<p>運転中や停止直後に高温部（エンジン、モータ、マフラーなど）に触るとやけどをする恐れがあります。</p> <p>高温部に触らないでください。</p>	6	 爆発  分解・修理・火気厳禁	<p>爆発により、けがをする恐れがあります。</p> <p>穴をあけたり、溶断したり、衝撃を与えたり、分解したり、火気を近づけたりしないでください。</p>
77	 プラグ飛び出し  取扱説明書を読め	<p>履帯調整装置からプラグが飛び出し、けがをするおそれがあります。</p> <p>履帯をゆるめる時は取扱説明書を読み、正しく処置してください。</p>	11	 感電；ケーブル取扱時  取扱説明書を読め	<p>ケーブル取扱い時、感電する危険があります。</p> <p>取扱説明書を読み、正しく処置してください。</p>
27	 転落  乗るな	<p>転落する恐れがあります。</p> <p>この場所に乗らないでください。</p>	51	 巻き込まれ  STOP 整備中、回転停止	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。</p>

附属書 1 表 6 不整地運搬車統一安全標識 (続き)

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
72	 <p>ボディー落下</p> <p>取扱説明書を読め</p>	<p>ボディが落下する恐れがあります。</p> <p>ボディを上げて点検、整備する時は、取扱説明書を読み、正しく処置してください。</p>	98	 <p>ひかれ</p> <p>近づくな</p>	<p>ひかれる恐れがあります。</p> <p>車両に近づかないでください。</p>
76	 <p>はね飛ばされ</p> <p>取扱説明書を読め</p>	<p>障害物や段差を乗り越える時、はね飛ばされる恐れがあります。</p> <p>取扱説明書を読み、正しく運転してください。</p>	16	 <p>感電</p> <p>安全距離を保て</p>	<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください</p>

附属書 1 表 7 ホイールクレーン, トラッククレーン統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 警告  取扱説明書を読め	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	17	 感電  安全距離を保て	<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください。</p>
81	 転倒  ・水平堅土に設置 ・アウトリガ完全張出し	<p>地盤の悪い場所に設置したり，アウトリガを張り出さないで作業すると転倒する恐れがあります。</p> <p>水平堅土上に機械を設置し，アウトリガを完全に張り出して，正しい姿勢で作業してください。</p>	82	 転倒  ・水平堅土に設置 ・アウトリガ完全張出し	<p>地盤の悪い場所に設置したり，アウトリガを張り出さないで作業すると転倒する恐れがあります。</p> <p>水平堅土上に機械を設置し，アウトリガを完全に張り出して，正しい姿勢で作業してください。</p>
41	 はさまれ  旋回内立入禁止	<p>機械が旋回し，身体をはさまれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>機械の旋回範囲内に立ち入らないでください。</p>			
18	 感電  安全距離を保て	<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください。</p>			

附属書 1 表 8 高所作業車統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	<p style="text-align: center;">-A- -001</p>	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	83	<p style="text-align: center;">-A- -083</p>	<p>地盤の悪い場所に設置したり，アウトリガを張り出さないで作業すると転倒する恐れがあります。</p> <p>水平堅土上に機械を設置し，アウトリガを完全に張り出して，正しい姿勢で作業してください。</p>
19	<p style="text-align: center;">-A- -019</p>	<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください。</p>			
20	<p style="text-align: center;">-A- -020</p>	<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください。</p>			

附属書 1 表 9 クローラクレーン統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 <p>-A- -001</p>	<p>警告！</p> <p>機械の運転、整備、分解、組立、輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	5	 <p>-A- -005</p>	<p>運転中や停止直後に高温部（エンジン、モータ、マフラーなど）に触るとやけどをする恐れがあります。</p> <p>高温部に触らないでください。</p>
52	 <p>-A- -052</p>	<p>ファンなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。</p>	51	 <p>-A- -051</p>	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。</p>
70	 <p>-A- -070</p>	<p>ブームの分解または組立手順を間違えるとブームが落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>分解・組立時にはブームの下に入らないでください。</p>	69	 <p>-A- -069</p>	<p>A フレーム（またはガントリーフレーム）が落ちてきたり、はさまれる恐れがあります。</p> <p>A フレーム（またはガントリーフレーム）の伸縮時には下に入らないでください。</p>
84	 <p>-A- -084</p>	<p>クレーン作業をする時、地盤・機械の状態によっては、転倒の恐れがあります。</p> <p>地盤を養生した水平堅土上でクローラを張り出して、正しい姿勢で作業してください。</p>	87	 <p>-A- -087</p>	<p>クレーン作業をする時、機械の状態によっては、転倒の恐れがあります。</p> <p>規定のカウンタウエイトを取り憑けて、正しい姿勢で作業してください。</p>

附属書 1 表 9 クローラクレーン統一安全標識 (続き)

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
86	 <p>後方転倒;クローラ縮小時 取扱説明書を読め</p> <p>-A- -086</p>	クローラを縮小したまま旋回または分解、組立をすると後方へ転倒する恐れがあります。取扱説明書をよく読み、指示に従って作業してください。	41	 <p>はさまれ 旋回内立入禁止</p> <p>-A- -041</p>	機械が旋回する時、上部旋回体に身体をはさまれる恐れがあります。旋回範囲内に立ち入らないでください。
21	 <p>感電 安全距離を保て</p> <p>-A- -021</p>	機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。電線から安全な距離を保ってください。	88	 <p>旋回落下;輸送時 旋回ロックせよ</p> <p>-A- -088</p>	機械を輸送する時は、上部旋回体が旋回して、トレーラから落下する恐れがあります。旋回ロックを確実にかけてください。

附属書 1 表 10 締固め機械統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 <p style="text-align: center;">-A- -001</p>	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	5	 <p style="text-align: center;">-A- -005</p>	<p>運転中や停止直後に高温部（エンジン，モータ，マフラーなど）に触るとやけどをする恐れがあります。</p> <p>高温部に触らないでください。</p>
52	 <p style="text-align: center;">-A- -052</p>	<p>ファンなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>	51	 <p style="text-align: center;">-A- -051</p>	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>
29	 <p style="text-align: center;">-A- -029</p>	<p>屈折部にはさまれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>車両に近づかないでください。</p>	37	 <p style="text-align: center;">-A- -037</p>	<p>機械が動いて手足をはさまれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>手足を絶対に差し込まないでください。</p>

附属書 1 表 11 アスファルトフィニッシャ統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 警告  取扱説明書を読め	警告！ 機械の運転、整備、分解、組立、輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。	5	 やけど  触るな	運転中や停止直後に高温部（エンジン、モータ、マフラーなど）に触るとやけどをする恐れがあります。 高温部に触らないでください。
8	 火災  火気厳禁	火災により、けがをする恐れがあります。 火気を近づけないでください。	7	 爆発  火気厳禁	爆発により、けがをする恐れがあります。 火気を近づけないでください。
52	 巻き込まれ  STOP 整備中、回転停止	ファンなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。 点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。	51	 巻き込まれ  STOP 整備中、回転停止	ベルトなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。 点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。
29	 はさまれ  近づくな	屈折部にはさまれ、けがをする恐れがあります。 機械に近づかないでください。	37	 はさまれ  手足を差込むな	機械が動いて手足をはさまれ、けがをする恐れがあります。 手足を絶対に差し込まないでください。

附属書 1 表 11 アスファルトフィニッシャ統一安全標識（続き）

No.	安全標識	説明文
57	 <p>巻き込まれ;フィーダ</p> <p>立入禁止</p>	<p>運転中にホッパ内に立ち入ると、フィーダに巻き込まれ、けがをす る恐れがあります。 ホッパ内には絶対に立 ち入らないでくださ い。</p>

附属書 1 表 12 コンクリート機械統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 <p>警告</p>  <p>取扱説明書を読め</p>	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	5	 <p>やけど</p>  <p>触るな</p>	<p>運転中や停止直後に高温部（エンジン，モータ，マフラーなど）に触るとやけどをする恐れがあります。</p> <p>高温部に触らないでください。</p>
8	 <p>火災</p>  <p>火気厳禁</p>	<p>火災により，けがをする恐れがあります。</p> <p>火気を近づけないでください。</p>	7	 <p>爆発</p>  <p>火気厳禁</p>	<p>爆発により，けがをする恐れがあります。</p> <p>火気を近づけないでください。</p>
53	 <p>巻き込まれ</p>  <p>近づくな</p>	<p>回転部に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>近づかないでください。</p>	51	 <p>巻き込まれ</p>  <p>整備中、回転停止</p>	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>
58	 <p>巻き込まれ</p>  <p>乗るな</p>	<p>回転部に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>この場所に乗らないでください。</p>	3	 <p>警告</p>  <p>アウトリガをロックせよ</p>	<p>警告！</p> <p>走行中にアウトリガが飛び出し，けがをさせることがないように，アウトリガを格納し，確実にロックしてください。</p>

附属書 1 表 12 コンクリート機械統一安全標識 (続き)

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
63		<p>ブームが落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>作業中はブームの下に入らないでください。</p>	64		<p>ブームで荷をつると、ブームが折れて荷が落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>ブームで荷をつらないでください。</p>
67		<p>ホースが落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>ブーム先端とホースはワイヤで確実に固定してください。</p>	85		<p>作業中転倒し、けがをする恐れがあります。</p> <p>アウトリガを完全に張り出し、傾斜角度は最大でも 3° 以内となるように設置してください。</p>
22		<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください</p>			

附属書 1 表 13 油圧ブレーカ、油圧圧砕機統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	5	 	<p>運転中や停止直後に高温部に触るとやけどをする恐れがあります。高温部に触らないでください。</p>
6	 	<p>爆発により，けがをする恐れがあります。</p> <p>穴をあけたり，溶断したり，衝撃を与えたり，分解したり，火気を近づけたりしないでください。</p>	79	 	<p>飛来物により，けがをする恐れがあります。</p> <p>機械に近づかないでください。</p>
65	 	<p>つり荷が落下し，けがをする恐れがあります。</p> <p>油圧ブレーカでのつり荷作業はしないでください。</p>	66	 	<p>つり荷が落下し，けがをする恐れがあります。</p> <p>油圧圧砕機でのつり荷作業はしないでください。</p>

附属書 1 表 14 基礎工事用機械統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 警告  取扱説明書を読め	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	12	 感電  触るな	<p>感電する危険があります。</p> <p>通電中は高電圧部（制御盤など）には絶対に触らないでください。</p>
26	 転落  近づくな	<p>転落する恐れがあります。</p> <p>端部に近づかないでください。</p>	53	 巻き込まれ  近づくな	<p>回転部に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>近づかないでください。</p>
48	 巻き込まれ  近づけるな	<p>ワイヤーシープの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>回転中は手を近づけないでください。</p>	50	 巻き込まれ  近づくな	<p>スクリーなど巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>回転中は，機械に近づかないでください。</p>
61	 巻き込まれ  近づくな	<p>頭上からの落下物により，けがをする恐れがあります。</p> <p>運転中は作業範囲内には近づかないでください。</p>	70	 ブーム落下  下に入るな：分解・組立時	<p>ブームの分解または組立手順を間違えるとブームが落下し，けがをする恐れがあります。</p> <p>分解・組立時にはブームの下に入らないでください。</p>

附属書 1 表 14 基礎工事用機械統一安全標識 (続き)

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
69	 <p>落下、はさまれ</p> <p>下に入るな;伸縮時</p>	<p>A フレーム (またはガントリーフレーム) が落ちてきたり、はさまれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>A フレーム (またはガントリーフレーム) の伸縮時には下に入らないでください。</p>	86	 <p>後方転倒;クローラ縮小時</p> <p>取扱説明書を読め</p>	<p>クローラを縮小したまま旋回または分解、組立をすると後方へ転倒する恐れがあります。</p> <p>取扱説明書をよく読み、指示に従って作業してください。</p>
41	 <p>はさまれ</p> <p>旋回内立入禁止</p>	<p>機械が旋回する時、上部旋回体に身体をはさまれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>旋回範囲内に立ち入らないでください。</p>	34	 <p>はさまれ</p> <p>入るな</p>	<p>機械に身体をはさまれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>機械の下に入らないでください。</p>
39	 <p>はさまれ;つぎ手</p> <p>手を差込むな</p>	<p>ロッド、スクリュなどをつぎ足し時、つぎ手に手をはさまれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>つぎ手に手を差し込まないでください。</p>	88	 <p>旋回落下;輸送時</p> <p>旋回ロックせよ</p>	<p>機械を輸送する時は、上部旋回体が旋回して、トレーラから落下する恐れがあります。</p> <p>旋回ロックを確実にかけてください。</p>
23	 <p>感電</p> <p>安全距離を保て</p>	<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください。</p>			

附属書 1 表 15 アスファルトプラント、コンクリートプラント統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 -A- -001	<p>警告！</p> <p>機械の運転、整備、分解、組立、輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	12	 -A- -012	<p>感電する危険があります。</p> <p>通電中は高電圧部（制御盤など）には絶対に触らないでください。</p>
26	 -A- -026	<p>転落する恐れがあります。</p> <p>端部に近づかないでください。</p>	52	 -A- -052	<p>ファンなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。</p>
49	 -A- -049	<p>スクリュの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>点検・整備を行う時には、完全に回転を止めてください。</p>	55	 -A- -055	<p>ベルトコンベア、ローラの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>点検・整備を行う時には、完全に回転を止めてください。</p>
			37	 -A- -037	<p>機械が動いて手足をはさまれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>手足を絶対に差し込まないでください。</p>

附属書 1 表 15 アスファルトプラント, コンクリートプラント統一安全標識 (続き)

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
99	<p>ひかれ</p> <p>近づくな</p> <p>-A- -099</p>	<p>接近車両にひかれ, けがをする恐れがあります。</p> <p>車両に近づかないでください。</p>	2	<p>警告</p> <p>作業範囲内立入禁止</p> <p>-A- -002</p>	<p>警告!</p> <p>作業範囲内には絶対に立ち入らないでください。</p>

附属書 1 表 16 自走式破碎機統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 警告  取扱説明書を読め	<p>警告！</p> <p>機械の運転、整備、分解、組立、輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	26	 転落  近づくな	<p>転落する恐れがあります。</p> <p>端部に近づかないでください。</p>
51	 巻き込まれ  整備中、回転停止	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>点検、整備などを行う時には、完全に回転を止めてください。</p>	45	 かみ込まれ  近づくな	<p>ジョークラッシャのジョーでかみ込まれる恐れがあります。</p> <p>破碎口に近づかないでください。</p>
46	 かみ込まれ  近づくな	<p>インパクトクラッシャのハンマにかみ込まれる恐れがあります。</p> <p>破碎口に近づかないでください。</p>	47	 かみ込まれ  近づくな	<p>シュレッダークラッシャにかみ込まれる恐れがあります。</p> <p>破碎口に近づかないでください。</p>
79	 飛来物  近づくな	<p>飛来物によりけがをする恐れがあります。</p> <p>機械に近づかないでください。</p>	73	 落石、落下物  近づくな	<p>ホッパや積込機のバケットからの落石、落下物により、けがをする恐れがあります。</p> <p>運転中は近づかないでください。</p>

附属書 1 表 16 自走式破碎機統一安全標識（続き）

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
74		<p>コンベヤからの落石，落下物により，けがをする恐れがあります。運転中は近づかないでください。</p>	80		<p>振動しているフィーダ，ふるいに近づくと，たたかれてけがをする恐れがあります。運転中は近づかないでください。</p>
37		<p>機械が動いて手足をはさまれ，けがをする恐れがあります。手足を絶対に差し込まないでください。</p>	2		<p>警告！ 作業範囲内には絶対に立ち入らないでください。</p>
25		<p>磁選機の周囲には強磁力があり，人体の磁力障害の恐れがあります。磁選機に近づかないでください。</p>			

附属書 1 表 17 シールド統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1		<p>警告！</p> <p>機械の運転、整備、分解、組立、輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	8		<p>火災により、けがをする恐れがあります。</p> <p>火気を近づけないでください。</p>
12		<p>感電する危険があります。</p> <p>通電中は高電圧部（制御盤など）には絶対に触らないでください。</p>	59		<p>エレクタの作動時、エレクタローラやエレクタ駆動ピニオンなどのかみ合回転部に手や足を巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>エレクタ作動時は、近づかないでください。</p>
54		<p>パワーユニットのカップリングの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>運転中は手を近づけないでください。</p>	61		<p>頭上からの落下物により、けがをする恐れがあります。</p> <p>運転中は作業範囲内には近づかないでください。</p>
68		<p>セグメントの落下により、けがをする恐れがあります。</p> <p>ピンを確実に挿入してください。</p>			

附属書 1 表 17 シールド統一安全標識 (続き)

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
44		<p>エレクトラにはさまれたり、はね飛ばされてけがをする恐れがあります。</p> <p>操作中はエレクトラに近づかないでください。</p>	43		<p>シールドジャッキに身体をはさまれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>作業中はシールドジャッキに近づかないでください。</p>
40		<p>真円保持装置作動時、拡張シューにより、手をはさまれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>真円保持装置の作動時は近づかないでください。</p>			
38		<p>スクリーコンベアに手をはさまれ、けがをする恐れがあります。</p> <p>操作中はゲートに手を差し込まないでください。</p>			

附属書 1 表 18 推進機統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 <p style="text-align: center;">-A- -001</p>	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	5	 <p style="text-align: center;">-A- -005</p>	<p>運転中や停止直後に高温部に触るとやけどをする恐れがあります。高温部に触らないでください。</p>
12	 <p style="text-align: center;">-A- -012</p>	<p>感電する危険があります。</p> <p>通電中は高電圧部（制御盤など）には絶対に触らないでください。</p>	8	 <p style="text-align: center;">-A- -008</p>	<p>火災により，けがをする恐れがあります。火気を近づけないでください。</p>
53	 <p style="text-align: center;">-A- -053</p>	<p>回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>近づかないでください。</p>			
37	 <p style="text-align: center;">-A- -037</p>	<p>機械が動いて手足をはさまれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>手足を絶対に差し込まないでください。</p>			

附属書 1 表 19 ドリル統一安全標識

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1		<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	4		<p>高温の状態でキャップを開けると高温の水または油が噴き出し，やけどをする恐れがあります。</p> <p>高温時にはキャップを開けないでください。</p>
5		<p>運転中や停止直後に高温部（エンジン，モータ，マフラーなど）に触るとやけどをする恐れがあります。</p> <p>高温部に触らないでください。</p>	8		<p>火災により，けがをする恐れがあります。</p> <p>火気を近づけないでください。</p>
6		<p>爆発により，けがをする恐れがあります。</p> <p>穴をあけたり，溶断したり，衝撃を与えたり，分解したり，火気を近づけたりしないでください。</p>	56		<p>ドリルロッドなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>回転中は，近づかないでください。</p>
29		<p>屈折部に，身体をはさまれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>機械に近づかないでください。</p>	37		<p>機械が動いて手足をはさまれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>手足を絶対に差し込まないでください。</p>

附属書 1 表 19 ドリル統一安全標識（続き）

No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
28		<p>作業機に登ると転落し、けがをする恐れがあります。</p> <p>ドリフタ、ガイドセンタなどの整備を行うときは、作業機に登らないで、作業機を下げてから行ってください。</p>	89		<p>移動するとき、地盤・機械の状態によっては、転倒する恐れがあります。</p> <p>地盤の状態等を良く確認して、安定姿勢で移動してください。</p>
90		<p>ドリリング作業をする時、地盤・機械の状態によっては、転倒する恐れがあります。</p> <p>地盤の状態等をよく確認して、安定姿勢で作業してください。</p>	24		<p>機械が電線に近づきすぎると感電する危険があります。</p> <p>電線から安全な距離を保ってください。</p>
10		<p>コンプレッサの圧気、掘削の粉塵などを吸い込む恐れがあります。</p> <p>運転中は、近づかないでください。</p>			

附属書 1 表 20 空気圧縮機統一安全標識

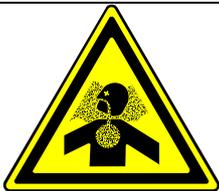
No.	安全標識	説明文	No.	安全標識	説明文
1	 <p style="text-align: center;">-A- -001</p>	<p>警告！</p> <p>機械の運転，整備，分解，組立，輸送などの前に取扱説明書を必ず読んでください。</p>	4	 <p style="text-align: center;">-A- -004</p>	<p>高温の状態でキャップを開けると高温の水または油が噴き出し，やけどをする恐れがあります。</p> <p>高温時にはキャップを開けないでください。</p>
5	 <p style="text-align: center;">-A- -005</p>	<p>運転中や停止直後に高温部（エンジン，モータ，マフラーなど）に触るとやけどをする恐れがあります。</p> <p>高温部に触らないでください。</p>	8	 <p style="text-align: center;">-A- -008</p>	<p>火災により，けがをする恐れがあります。</p> <p>火気を近づけないでください。</p>
52	 <p style="text-align: center;">-A- -052</p>	<p>ファンなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>	51	 <p style="text-align: center;">-A- -051</p>	<p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ，けがをする恐れがあります。</p> <p>点検，整備などを行う時には，完全に回転を止めてください。</p>
101	 <p style="text-align: center;">-A- -101</p>	<p>運転中や停止直後に給油口を開けると，圧縮空気やオイルが噴き出し，やけどをする恐れがあります。</p> <p>取扱説明書を読み，正しく作業してください。</p>	100	 <p style="text-align: center;">-A- -100</p>	<p>運転停止直後，圧縮空気が残ったまま配管をはずすと，ホースが飛びはね，けがをする恐れがあります。</p> <p>取扱説明書を読み，正しく作業してください。</p>

附属書 1 表 20 空気圧縮機統一安全標識（続き）

No.	安全標識	説明文
9	 <p>吸込注意</p> <p>取扱説明書を読め</p>	<p>閉めきった室内で運転する時、中毒の危険があります。</p> <p>取扱説明書を読み、正しく作業してください。</p>

附属書 2（規定） 危険内容の図記号

附属書 2 表 1 危険内容の図記号

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
1		警告	特定しない一般的な警告を表す。	JIS A 8312
2		やけど	特定の条件において、高温の水または油が噴き出し手などをやけどする恐れがあることを表す。	
3		やけど	特定の条件において、高温によりやけどする恐れがあることを表す。	JIS A 8312
4		爆発	特定の条件において、爆発の恐れがあることを表す。	JIS A 8312
5		火災	特定の条件において、発火や火災を起こす恐れがあることを表す。	JIS Z 9101 解説
6		吸込注意	特定の環境において、有毒ガスを吸い込む恐れがあることを表す。	JIS A 8312

附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
7		感電：ケーブル取扱時	高電圧ケーブルの取扱い時などに、感電する危険があることを表す。	ANSI Z 535.3
8		感電	特定の条件において、感電する危険があることを表す。	JIS A 8312
9		感電	油圧ショベルの機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	JIS A 8312
10		感電	ホイールローダの機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
11		感電	ダンパ (ダンプトラック) の機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
12		感電	不整地運搬車の機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
13		感電	ホイールクレーン・トラッククレーンの機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	

附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
14		感電	ホイールクレーン・トラッククレーンの機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
15		感電	高所作業車の機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
16		感電	高所作業車の機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
17		感電	クローラクレーンの機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
18		感電	コンクリートポンプ車の機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
19		感電	基礎工事用機械の機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	
20		感電	ドリルの機体が電線に近づきすぎると、感電する危険があることを表す。	

附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
21		強磁力	自走破砕機の磁選機の周囲には強磁力があり、人体への磁力障害の恐れがあることを表す。	
22		転落	何かの面から転落し、死傷する恐れがあることを表す。	JIS A 8312
23		転落	特定の条件において、機械の面から転落し、死傷する恐れがあることを表す。	
24		はさまれ	特定の条件において、機械の可動部に身体がはさまれる恐れがあることを表す。	
26		はさまれ	特定の条件において、機械（またはその一部）が動き、他の物体との間に身体がはさまれる恐れがあることを表す。	
28		はさまれ	特定の条件において、機械の一部が横方向に動き、はさまれる恐れがあることを表す。	JIS A 8312
29		はさまれ はさまれ：ゲート はさまれ：つぎ手	機械の一部が縦方向に動き、はさまれる恐れがあることを表す。	

附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
30		はさまれ 不意の起動	特定の条件において、機械が不意に起動し、あるいは作業中旋回し、他の物体との間に身体がはさまれる恐れがあることを表す。	JIS A 8312
31		はさまれ；シールドジャッキ	シールドジャッキに身体をはさまれる恐れがあることを表す。	
32		はさまれ；エレクトラ	エレクトラに身体をはさまれる恐れがあることを表す。	
33		かみ込まれ	ジョークラッシュヤの破砕口に近づくと、ジョーでかみ込まれる恐れがあることを表す。	
34		かみ込まれ	インパクトクラッシュヤの破砕口に近づくと、ハンマにかみ込まれる恐れがあることを表す。	
35		かみ込まれ	シュレッダークラッシュヤの破砕口に近づくと、シュレッダーにかみ込まれる恐れがあることを表す。	
36		巻き込まれ	ワイヤシーブの回転部分に巻き込まれる恐れがあることを表す。	

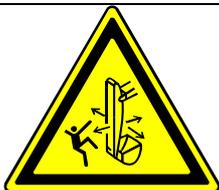
附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
37		巻き込まれ	スクリュなどの回転部分に巻き込まれ, けがをする恐れがあることを表す。	JIS A 8312
38		巻き込まれ	スクリュなどの回転部分に巻き込まれ, けがをする恐れがあることを表す。	
39		巻き込まれ	点検・整備時は, ベルトなどの回転部分に巻き込まれ, けがをする恐れがあることを表す。	JIS A 8312
40		巻き込まれ	点検・整備時は, ファンなどの回転部分に巻き込まれ, けがをする恐れがあることを表す。	JIS A 8312
41		巻き込まれ	回転部分に近づくと, 巻き込まれ, けがをする恐れがあることを表す。	
42		巻き込まれ	パワーユニットのカップリングに手を近づけると回転部分に巻き込まれ, けがをする恐れがあることを表す。	
43		巻き込まれ	ベルトコンベア・ローラの回転部分に巻き込まれる恐れがあることを表す。	

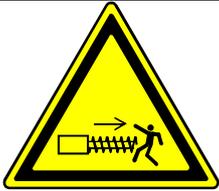
附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
44		巻き込まれ	ドリルロッドなどの回転部に巻き込まれる恐れがあることを表す。	
45		巻き込まれ；フィーダ	特定の条件において、フィーダに巻き込まれる恐れがあることを表す。	
46		巻き込まれ	回転部に乗ると巻き込まれてけがをする恐れがあることを表す。	
47		巻き込まれ	かみ合い回転部に手足を巻き込まれるとけがをする恐れがあることを表す。	
48		前窓落下	上部に格納している前窓が落下してくる恐れがあることを表す。	
49		落下 セグメントの落下	特定の条件において、物が落下してくる恐れがあることを表す。	JIS A 8312
50		落下，はさまれ	A フレーム (ガントリーフレーム) の伸縮時に A フレーム (ガントリーフレーム) が落下してくる恐れがあることを表す。	

附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
51		ブーム落下	ブームの分解・組立時にブームが落下してくる恐れがあることを表す。	
52		ボディ落下	ボディを上げての点検整備時に、ボディが落下する恐れがあることを表す。	
53		ボディ落下	ボディを上げての点検整備時に、ボディが落下する恐れがあることを表す。	
54		落石, 落下物	作業中の機械に近づくと、ホッパーや積込機のバケットからの落石, 落下物により、けがをする恐れがあることを表す。	
55		落石, 落下物	運転中の機械に近づくと、コンベアからの落石, 落下物により、けがをする恐れがあることを表す。	
56		はね飛ばされ	作業中の機械に近づくと機械の作業機にはね飛ばされ、けがをする恐れがあることを表す。	
57		はね飛ばされ	障害物や段差を乗り越えるとき、はね飛ばされる恐れがあることを表す。	

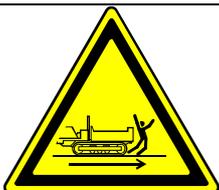
附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
58		プラグ飛び出し	履帯を調整する時, 履帯調整装置からプラグが飛び出し, けがをする恐れがあることを表す。	
59		スプリング飛び出し	スプリングが飛び出し, けがをする恐れがあることを表す。	
60		飛来物	機械に近づくと, 飛来物により, けがをする恐れがあることを表す。	
61		たたかれ; 振動時	運転中に, 振動しているフィーダ, ふるいに近づくと, たたかれてけがをする恐れがあることを表す。	
62		転倒	地盤の悪い場所に設置したり, アウトリガを張り出さないと作業すると転倒する恐れがあることを表す。	
63		転倒	地盤の悪い場所に設置したり, アウトリガを張り出さないと作業すると転倒する恐れがあることを表す。	
64		転倒	地盤の悪い場所に設置したり, アウトリガを張り出さないと作業すると転倒する恐れがあることを表す。	

附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
65		転倒	地盤の悪い場所に設置したり、クローラを張り出さないうで作業すると転倒する恐れがあることを表す。	
66		転倒	作業中に転倒しけがをする恐れがあることを表す。	
67		後方転倒；クローラ縮小時	クローラを縮小したまま旋回または分解すると後方へ転倒する恐れがあることを表す。	
68		転倒	特定の条件において、クローラクレーンが転倒する恐れがあることを表す。	
69		旋回落下；輸送時	機械を輸送する時はカーブや坂道で、上部旋回体が不意に旋回して転倒し、トレーラから落下する恐れがあることを表す。	
70		転倒；移動時	移動する時、地盤・機械の状態によっては、転倒しけがをする恐れがあることを表す。	
71		転倒；作業時	地盤の悪い場所に設置したり、アウトリガを張り出さないうで作業すると転倒する恐れがあることを表す。	

附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

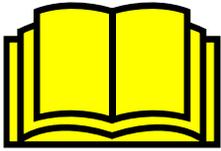
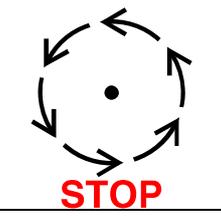
No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
72		不意の起動	止めておいた機械が不意に動く恐れがあることを表す。	
73		ひかれ 不意の起動	トラクタドーザ (ブルドーザ) に近づくとひかれる恐れがあることを表す。	
74		ひかれ	ホイールローダに近づくとひかれる恐れがあることを表す。	
75		ひかれ	グレーダに近づくとひかれる恐れがあることを表す。	
76		ひかれ	スクレーパに近づくとひかれる恐れがあることを表す。	
77		ひかれ	ダンパ (ダンプトラック) に近づくとひかれる恐れがあることを表す。	
78		ひかれ	不整地運搬車に近づくとひかれる恐れがあることを表す。	

附属書 2 表 1 危険内容の図記号 (続き)

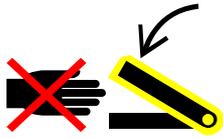
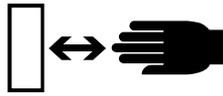
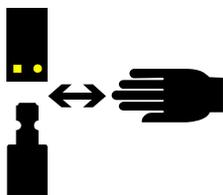
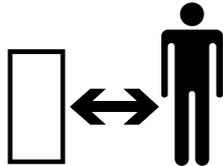
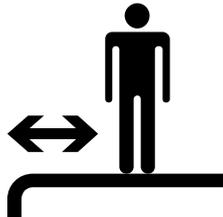
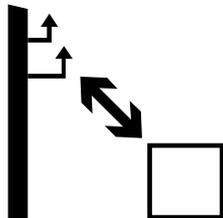
No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
79		ひかれ	車両に近づくとひかれる恐れがあることを表す。	
80		ホース飛びはね	圧縮空気が残ったまま配管を外すと、むち打ち現象を起こし、ホースが飛びはねけがをする恐れがあることを表す。	
81		残圧	給油口を開けると、キャップが吹き飛び、高温の圧縮空気と油が噴き出す恐れがあることを表す。	

附属書 3（規定） 危険回避の図記号

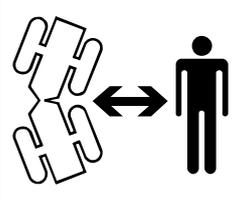
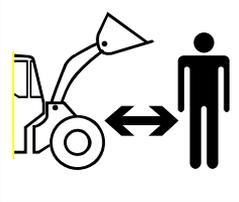
附属書 3 表 1 危険回避の図記号

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
1		取扱説明書を読め	運転，整備，分解，組立，輸送などの動作を行う前に取扱説明書を読み，正しく作業するよう指示していることを表す。	JIS A 8312
2		分解修理・火気厳禁	穴をあけたり，溶断したり，衝撃を与えたり，分解したり，火気を近づけるのを禁止していることを表す。	JIS Z 9101 解説
3		触るな	機械の特定の場所に手を触れるのを禁止していることを表す。	JIS B 0139
4		開けるな	高温時にはキャップを開けるのを，禁止していることを表す。	
5		火気厳禁	火気を近づけたり，近くで火を用いるのを禁止していることを表す。	JIS Z 9101 解説
6		整備中，運転禁止	点検整備する前に，エンジンの回転を止めるよう指示していることを表す。	JIS A 8312

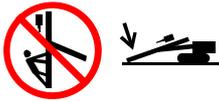
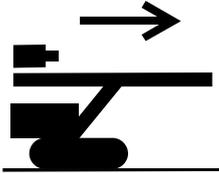
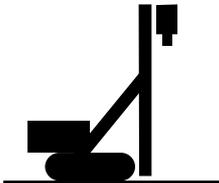
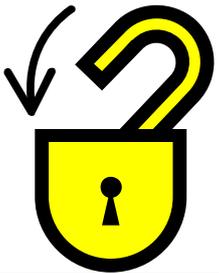
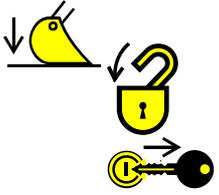
附属書 3 表 1 危険回避の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
7		手足を差込むな	危険のあるところに手や足を差し込まないよう指示していることを表す。	JIS A 8312
8		近づけるな 差込むな	危険な場所に手を近づけないよう指示していることを表す。	
10		手を差込むな	つぎ手に手を差し込まないよう指示していることを表す。	
11		近づくな 旋回内立入禁止 操作中, 近づくな	危険な対象物に近づかないよう指示していることを表す。	JIS A 8312
12		近づくな	機械の端部に近づかないよう指示していることを表す。	
13		安全距離を保て	電線から安全な距離に機械を保つよう指示していることを表す。	JIS A 8312

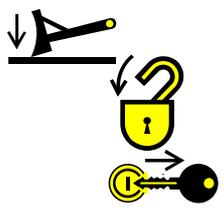
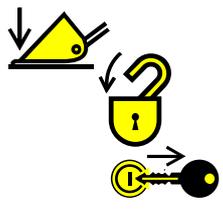
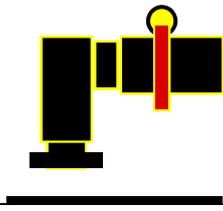
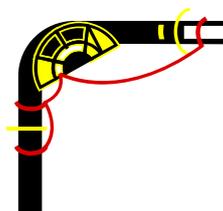
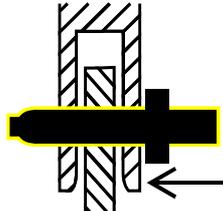
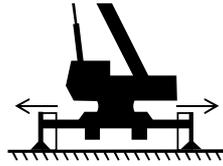
附属書 3 表 1 危険回避の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
14		近づくな	ホイールローダに近づかないよう指示していることを表す。	
15		近づくな	ホイールローダに近づかないよう指示していることを表す。	JIS A 8312
16		立入禁止 下に入るな； 分解，組立時 下に入るな；伸縮時 作業範囲内立入禁止 入るな	機械が動くことにより危険を及ぼす特定の場所に立入るのを禁止していることを表す。	
17		ブームの下に入るな	コンクリート機械の作業中はブームの下に入ることを禁止していることを表す。	
18		乗るな	機械の特定の場所に乗るのを禁止していることを表す。	
19		つり作業厳禁	コンクリート機械のブームでのつり作業を禁止していることを表す。	
20		つり作業禁止	ブレーカでのつり作業を禁止していることを表す。	

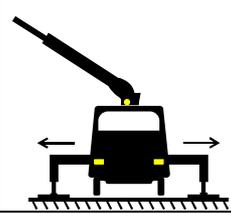
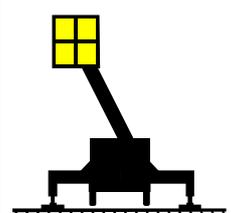
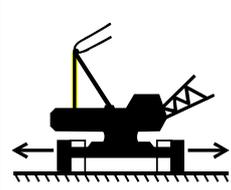
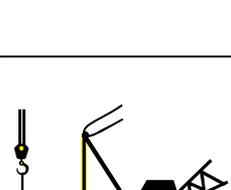
附属書 3 表 1 危険回避の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
21		つり作業禁止	圧砕機でのつり作業を禁止していることを表す。	
22		登るな, 下げよ	ドリル機械のドリフタ, ガイドセルなどの整備を行う時は, 作業機に登らないで作業機を下げてから行うよう指示していることを表す。	
23		安全姿勢で移動せよ	ドリル機械は地盤の状態などをよく確認して, 安定姿勢で移動するよう指示していることを表す。	
24		安定姿勢で作業せよ	ドリル機械は地盤の状態などをよく確認して, 安定姿勢で作業するよう指示していることを表す。	
25		ロックせよ ロックせよ; 整備, 輸送 (回送時) 旋回ロックせよ	機械を動作させないように, 機械のロック装置をロックするよう指示していることを表す。	JIS A 8312
26		離籍時; 作業機接地, ロック, エンジントップ	油圧ショベルから離れる時は, 作業機を地面に下ろし, 操作レバーをロックし, エンジンキーを抜くよう指示していることを表す。	

附属書 3 表 1 危険回避の図記号 (続き)

No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
27		離籍時； 作業機接地，ロック， エンジストップ	トラクタドーザ (ブルドーザ) から離れる時は，作業機を地面に下ろし，操作レバーをロックし，エンジンキーを抜くよう指示していることを表す。	
28		離籍時； 作業機接地，ロック， エンジストップ	ホイールローダから離れる時は，作業機を地面に下ろし，操作レバーをロックし，エンジンキーを抜くよう指示していることを表す。	
29		アウトリガをロックせよ	コンクリート機械の走行時にはアウトリガを格納し，確実にロックするよう指示していることを表す。	
30		落下防止ワイヤを付けよ	コンクリート機械のブーム先端とホースは，ワイヤで確実に固定するよう指示していることを表す。	
31		ピンを確実に挿入	ピンを確実に挿入するよう指示していることを表す。	
32		・水平堅土上に設置 ・アウトリガ完全張出し	水平堅土上にクレーンを設置し，アウトリガを完全に張出して，正しい姿勢で作業するよう指示していることを表す。	

附属書 3 表 1 危険回避の図記号 (続き)

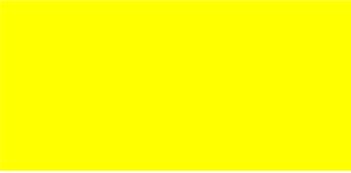
No.	図記号	補助文字	意味	関連規格
33		<ul style="list-style-type: none"> ・水平堅土上に設置 ・アウトリガ完全張出し 	水平堅土上にクレーンを設置し、アウトリガを完全に張出して、正しい姿勢で作業するよう指示していることを表す。	
34		<ul style="list-style-type: none"> ・水平堅土上に設置 ・アウトリガ完全張出し 	水平堅土上に機械を設置し、アウトリガを完全に張出して、正しい姿勢で作業するよう指示していることを表す。	
35		<ul style="list-style-type: none"> ・水平堅土上に設置 ・クローラ完全張出し 	水平堅土上にクレーンを設置し、クローラを完全に張出して、正しい姿勢で作業するよう指示していることを表す。	
36		アウトリガ完全張出し	コンクリート機械のアウトリガを完全に張り出し傾斜角度は最大でも3°以内になうよう設置することを指示していることを表す。	
37		規定のカウンタウェイト取付	クローラクレーンは規定のカウンタウェイトを取り付けて、正しい姿勢で作業するよう指示していることを表す。	

附属書 4（規定） 安全標識に使用する色

安全標識に使用する色は、附属書 4 表 1 に示すとおりとする。

なお、使用に当たっては、JIS Z 9101 を参照する。

附属書 4 表 1 安全標識に使用する色

色の種類	色のコード	参考色
赤	7.5R4/15	
黄	2.5Y8/14	
黒	N1	

建設機械—安全標識 解説

この解説は、本体に規定・記載した事柄、並びにこれらに関連した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1. 制定の趣旨及び経緯

1.1 制定の趣旨 この規格は、建設機械に係わる事故を防止し、建設機械を安全に使用してもらうための情報を運転員・作業員に知らせる際に用いる建設機械統一安全標識、危険内容の図記号及び危険回避の図記号をとりまとめたものである。この規格の作成にあたってはJIS A 8312 “土工機械—安全標識および危険表示図記号—通則”，ISO 13200 "Cranes—General principles for Safety signs and hazard pictorials" 及びJIS Z 9101 “安全色及び安全標識”を、基本とした。

1.2 制定の経緯 この規格の作成経緯は、次のとおり。

1.2.1 平成7～9年に社団法人日本建設機械工業会の製造物責任制度専門委員会（平成9年に技術製造委員会に継承）の下の警告表示基本方針SWGが案を取りまとめた。この案を製造物責任制度専門委員会の諮問機関として設置した建設機械安全標識評価検討会の評価を経て、同工業会の技術製造委員会が“建設機械の統一安全標識と警告表示に関するガイドライン”を作成した。このガイドラインを基に同工業会の警告表示基本方針SWGが規格の原案を作成した。

1.2.2 この原案について同工業会より社団法人日本建設機械化協会規格(JCMAS)化の要望があり、社団法人日本建設機械化協会の機械部会ショベル技術委員会にて検討のうえ、同協会規格部会にJCMAS案として提出、同部会規格委員会にて審議され、規格部会運営連絡会より同協会標準化会議に提出され、審議の結果、承認された。

1.2.3 承認された案文に関して、WTO/TBT 協定に基づく意見受付の公告を財団法人日本規格協会発行の“標準化ジャーナル”誌上で行い、平成11年2月15日より意見受付開始、平成11年4月15日意見受付終了し、平成12年3月31日付けで制定された。

2. 審議中特に問題となった事項 この規格で規定する安全標識は、図記号を主体に作成されたが、補助文字の必要性が論議され追加された。従って、言語の異なる地域で使用する際は、図記号主体に考えて補助文字を削除するか、若しくは補助文字をその地域の言語とするなどが考えられるが、同時に、この規格で規定する図記号主体の安全標識が、十分受け入れられない状況の地域もありうるなどなどを考慮する必要がある。

3. 適用範囲（本体の1.） この規格の適用対象機種 of の名称として、他の規格などで使用されているものを使用した。このため、社団法人日本建設機械工業会で作成した原案と名称が相違する機種がある。

- | | |
|--------------------|----------------|
| — 油圧ショベル（ミニショベル含む） | — アスファルトフィニッシャ |
| — トラクタドーザ（ブルドーザ） | — コンクリート機械 |
| — ホイールローダ | — 油圧ブレーカ、油圧圧砕機 |
| — グレーダ、スクレーパ | — 基礎工事用機械 |
| — ダンパ（ダンプトラック） | — アスファルトプラント、 |
| — 不整地運搬車 | — コンクリートプラント |
| — ホイールクレーン、 | — 自走式破碎機 |

トラッククレーン	—— シールド
—— 高所作業車	—— 推進機
—— クローラクレーン	—— ドリル
—— 締固め機械	—— 空気圧縮機

4. 各構成要素の内容

4.1 取扱説明書などでの表示（本体の4.3） 安全標識とその正確な意味の説明文を取扱説明書の冒頭で一覧表示するものとする。

5. 原案作成委員会の構成表 原案作成に携わった委員会（社団法人日本建設機械工業会 建設機械安全標識評価検討会、技術製造委員会－警告表示基本方針SWG）の構成表を、次に示す。

建設機械安全標識評価検討会の構成表

	氏 名	所 属
(座長)	宮村 鐵夫	中央大学 理工学部
委員	岡崎 治義	建設省 建設経済局 建設機械課
	原 公望	住友建機株式会社
	角野 祥三	製品安全協会
	松田 勝喜	専門建設業者団体連合会（社団法人全国クレーン建設業協会）
	渡辺 恒雄	社団法人日本建設機械化協会（大成建設株式会社）
	中島 誠	通商産業省 機械情報産業局 産業機械課
	海保 博之	筑波大学 心理学系
	久保田 修	労働省 労働基準局安全衛生部安全課
専門委員	三枝 繁雄	製品安全協会
	加納 進	建設業労働災害防止協会

警告表示基本方針 SWG の構成表

	氏 名	所 属
(リーダー)	渡辺 正	日立建機株式会社
(サブリーダー)	田中 健三	株式会社小松製作所
委員	矢仲徹太郎	株式会社神戸製鋼所
	天野 古祀	酒井重工業株式会社
	佐藤 啓助	新キャタピラー三菱株式会社
	森田 尚文	住友建機株式会社
	牧野 豊	住友建機株式会社
	吉川 達弥	日本ニューマチック工業株式会社
	植原 武男	日立建機株式会社